LIXIL

京香 建仁寺垣・細美垣 ユニット型 フリーポールタイプ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施工者、使用者様への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- がけ上など、転落したらケガのおそれのある場合は、設置できません。

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

- 柱埋込み時にはレベル孔を完全に塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- 柱内部にモルタルを詰めたりしないでください。腐食の原因になります。
- 現場で金具や連結材を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- ケガ防止のため、キャップ・カバーは必ず取付けてください。
- 柱芯から本体ジョイント部までの間隔は165mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

＜基礎工事について＞

注意

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

■梱包明細書

1 主柱

名称	略図	員数
フリーポール柱		1
注意シール	―	1

2 パネル受け金具セット(T-14,18共通)

名称	略図	員数
上部胴縁受け金具		1
中間ブラケット		1
下部ブラケット		1
押え竹連結カバー		6
パネル連結金具		1
笠竹ストッパー		1
側枠上キャップ		2
側枠下カバー R		1
側枠下カバー L		1
2-①φ4X20バインドタッピンネジ2種		1
2-②φ4X13バインドピアスネジ		8
2-③φ4X12トラスタッピンネジ1種 D=8		7
2-④φ4X10サラタッピンネジ3種 D=6		1
2-⑤φ4X12サラタッピンネジ3種 D=6		2
取付説明書　C180	―	1
取扱説明書　UC014	―	1

3 押え竹端部カバーキャップセット

名称	略図	員数
端部押え竹キャップ		1
3-① φ4X13バインドピアスネジ		1

4 笠竹セット

名称	略図	員数	
		真竹・柾竹	しみじみ竹
笠竹		1	1
笠竹取付金具		―	4
4-①φ4X13バインドピアスネジ		―	4

5 ユニットパネルセット

名称	略図	員数
パネル本体		1

6 端部カバーセット

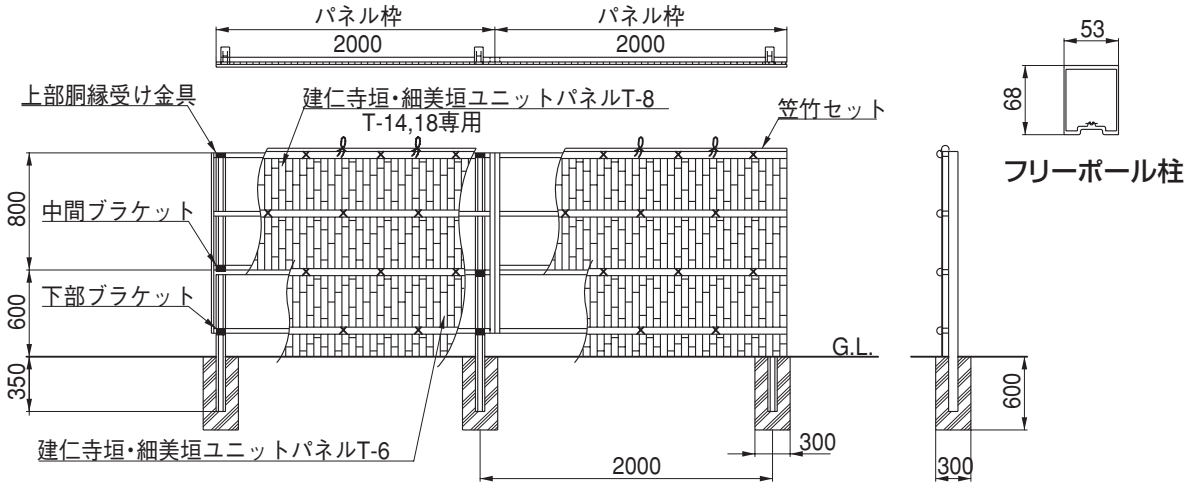
名称	略図	員数
端部カバー		1
固定金具1		1
固定金具2		2
側枠上キャップ		1
6-①φ4X13バインドピアスネジ		5
6-②φ4X10サラタッピンネジ3種 D=6		1

7 コーナーカバーセット

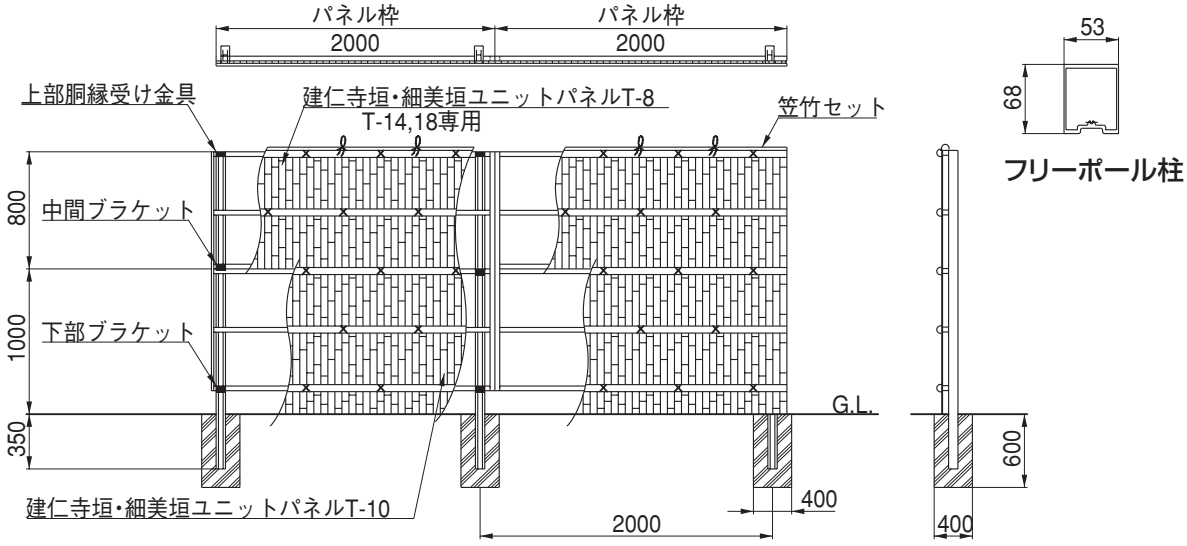
名称	略図	員数
コーナー部材		1
コーナーカバー		1
側枠受け金具1		1
側枠受け金具2		1
側枠受け金具3		3
側枠上キャップ		2
孔隠しシール		5
7-①φ4X16トラスタッピンネジ1種		2
7-②φ4X10トラスタッピンネジ3種		12
7-③M4X30ナベ小ネジ		5
7-④M4X50ナベ小ネジ		5
7-⑤M4X70ナベ小ネジ		5
7-⑥φ4X13バインドピアスネジ		2

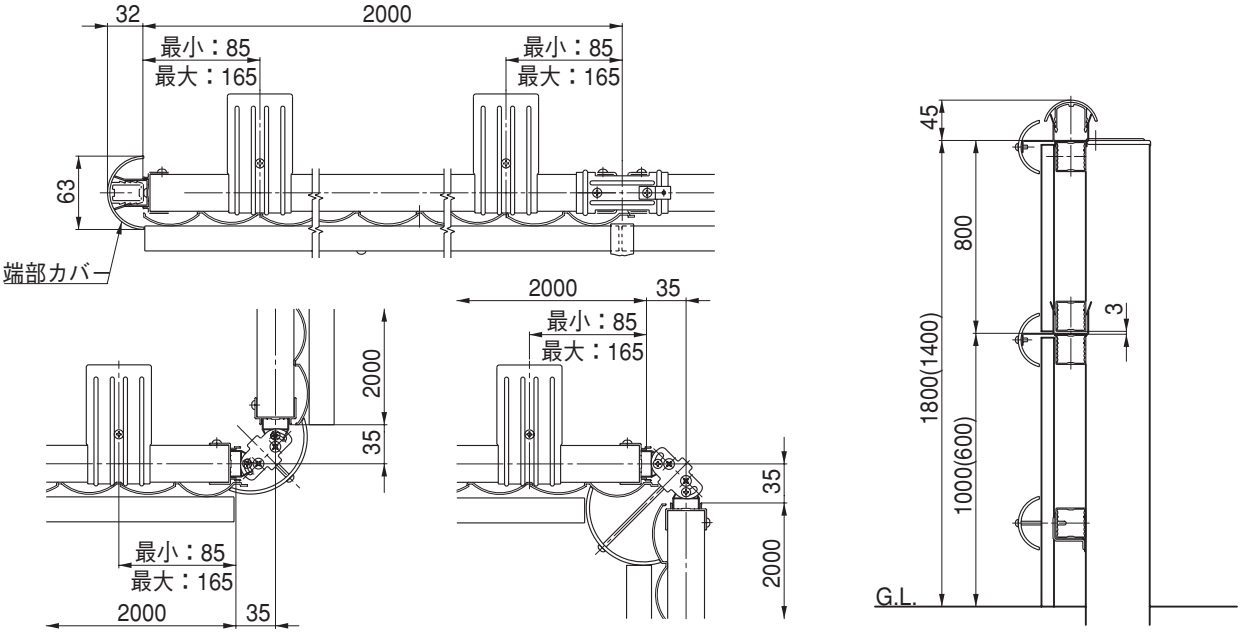
1.基本寸法および施工図　※(　)内寸法はT-14サイズの場合です。

1-1　T−14サイズ



1-2　T−18サイズ





コーナー部分納まり図

2.パネル本体の切詰め

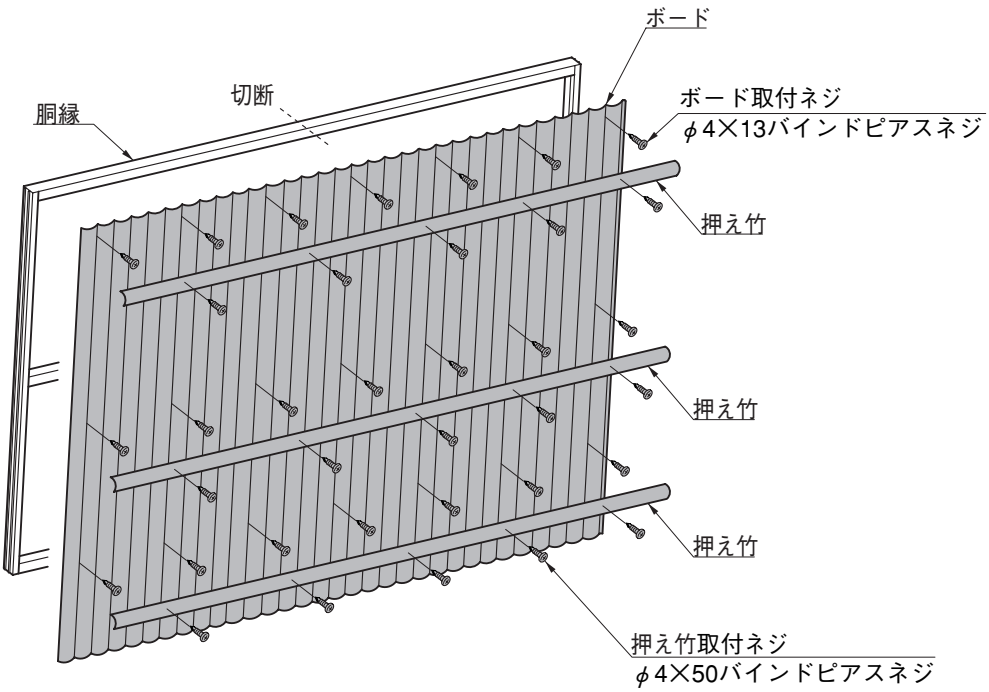


図2-1

❶「押え竹取付ネジ」をはずし、押え竹を取り外してください。（図2-1参照）
❷「ボード取付ネジ」をはずし、ボードを取り外してください。（図2-1参照）

ポイント

- 外したネジは再利用するため、捨てないでください。

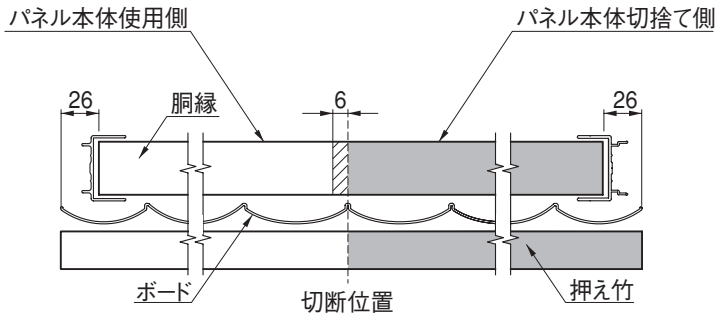


図2-2

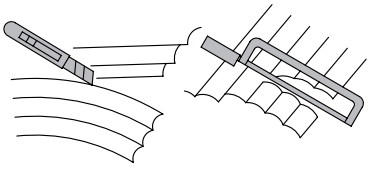


図2-3

❸ボード・押え竹をノコギリ、カッターを使い切断してください。（図2-3参照）

注 意

- ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。

❹パネル本体使用側の胴縁はボード・押え竹切断位置から6mm短く切断してください。（図2-2参照）

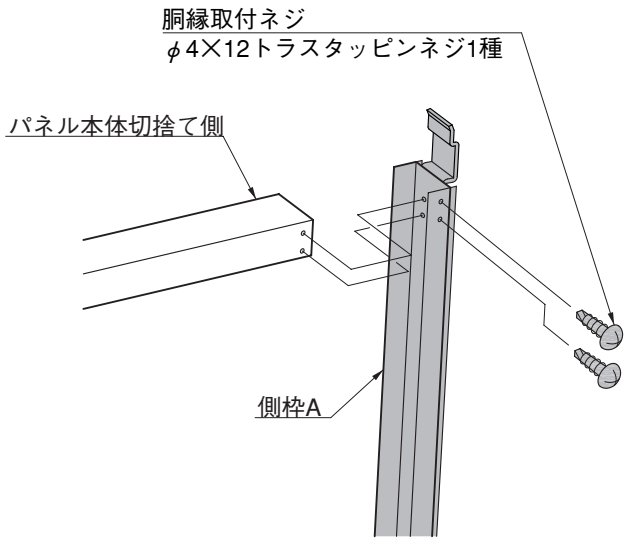


図2-4

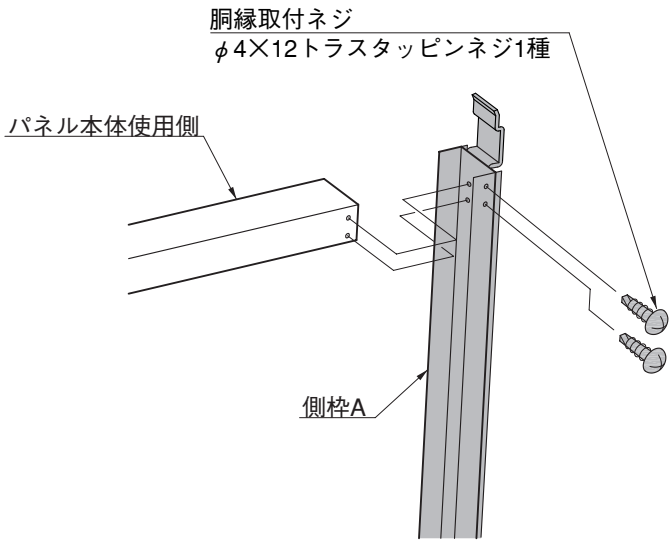


図2-5

❺パネル本体切捨て側から「胴縁取付ネジ」を外し、側枠Aを取り外してください。（図2-4参照）
❻取り外した側枠Aをパネル本体使用側に「胴縁取付ネジ」で取付けてください。（図2-5参照）

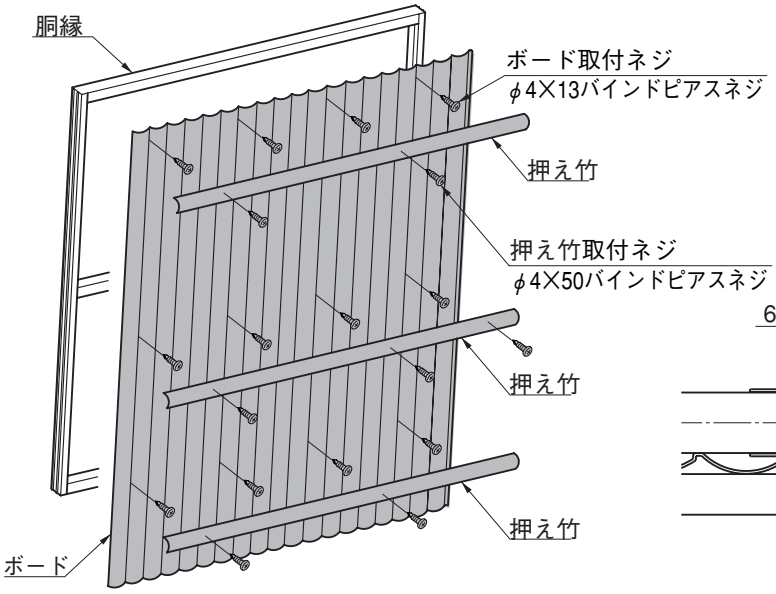


図2-6

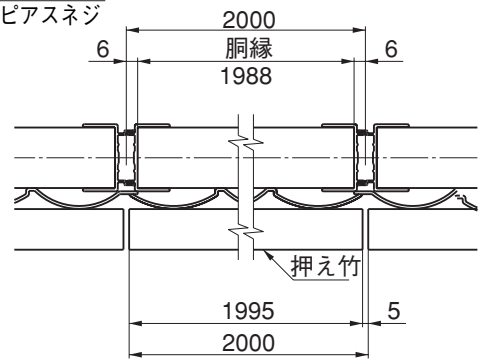


図2-7　切詰め前寸法

❼「ボード取付ネジ」で胴縁にボードを固定してください。（図2-6参照）
❽押え竹を「押え竹取付ネジ」でボードの上から胴縁に固定してください。（図2-6参照）

ポイント

- ボード、押え竹の位置関係は図2-7を参照してください。

3.下段パネル側枠上キャップの取付け

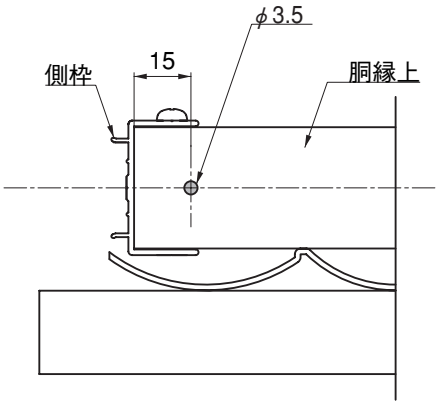


図3-1

❶パネル本体を切詰めた場合のみ、切断した側の胴縁上に側枠上キャップ取付け孔φ3.5をあけてください。（図3-1参照）

補足

- 通常下段パネルには、側枠上キャップ取付け孔φ3.5があいています。
- 上段パネルへの側枠上キャップの取付けは「7.端部カバーの取付け」、「11.コーナー部材の取付け」を参照してください。

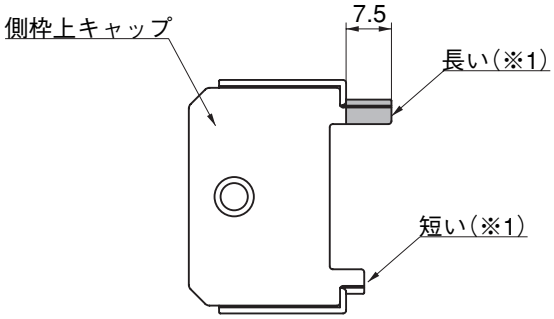


図3-2

❷側枠上キャップの長い方のフィン（※1）をノコギリ等で切り落としてください。（図3-2参照）

注意

- ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。

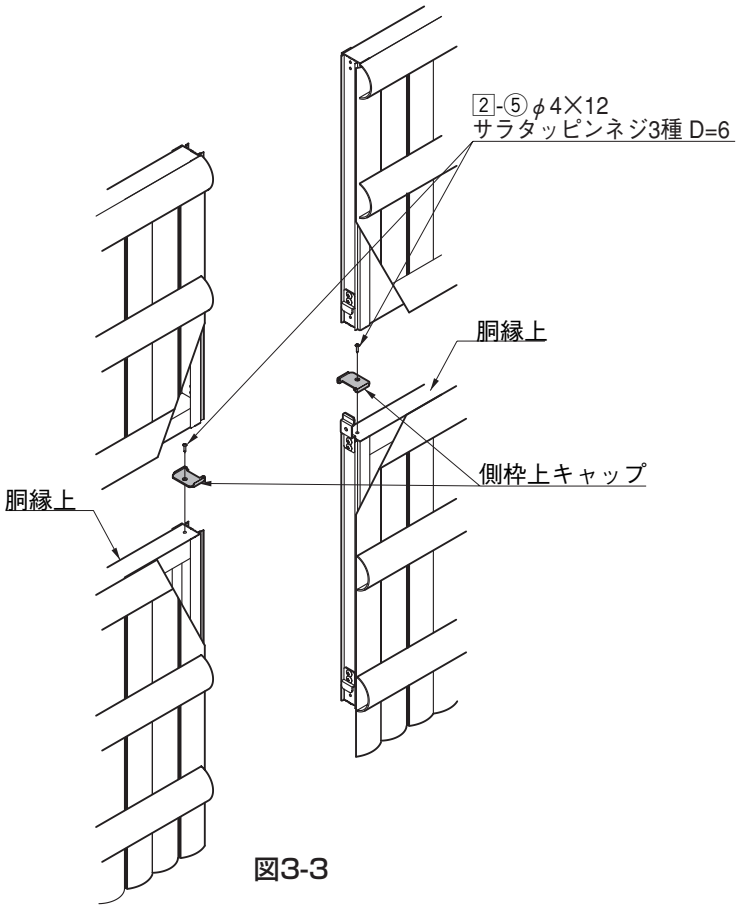
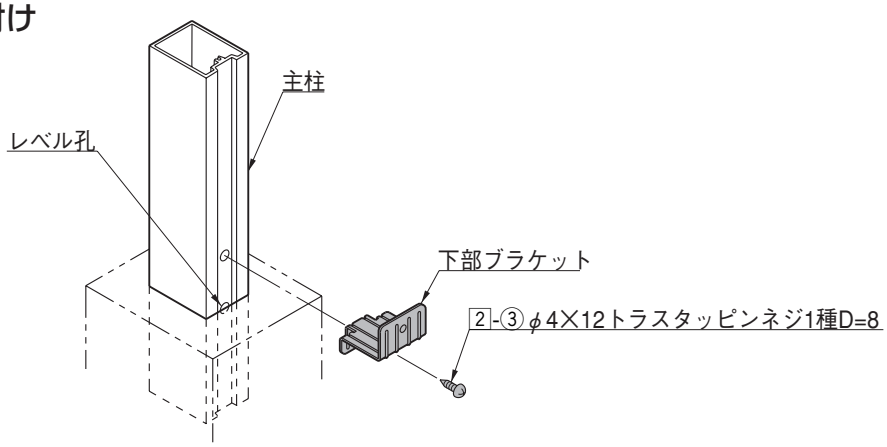


図3-3

❸側枠に側枠上キャップをかぶせ、2-⑤で胴縁上に取付けてください。（図3-3参照）

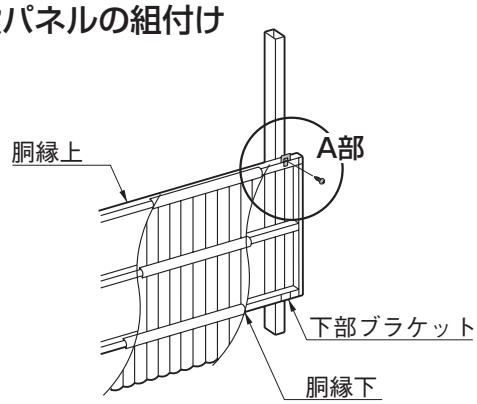
4.パネル本体・主柱の組立て

4-1 下部ブラケットの取付け



❶主柱に下部ブラケットを2-③で固定しください。

4-2 下段パネルの組付け



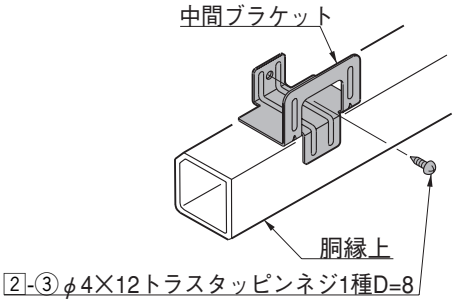


図4-1　A部詳細図

❶下部ブラケットにパネルの胴縁下をのせて、パネルの胴縁上を中間ブラケットと2-③で固定してください。

4-3 上段パネルの組付け

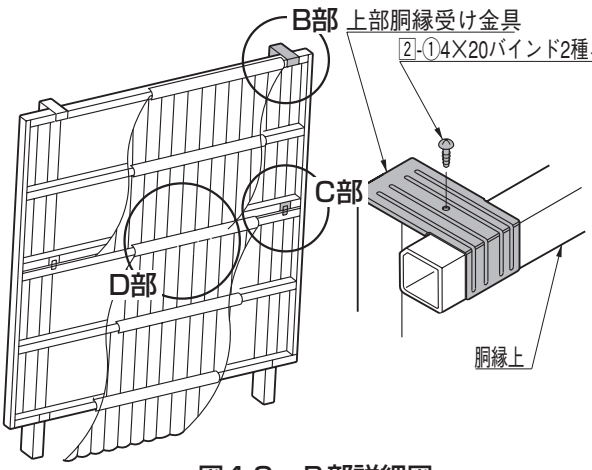


図4-2　B部詳細図

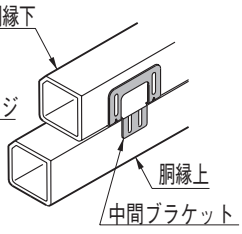


図4-3　C部詳細図

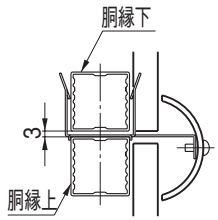
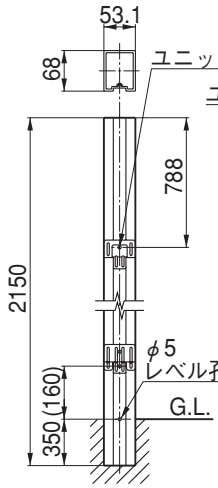
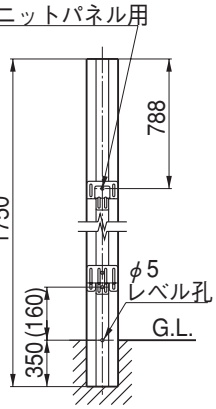


図4-4　D部断面図



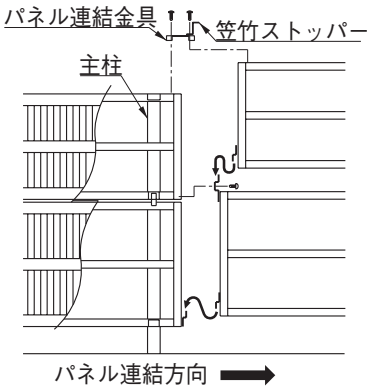
T-18サイズ

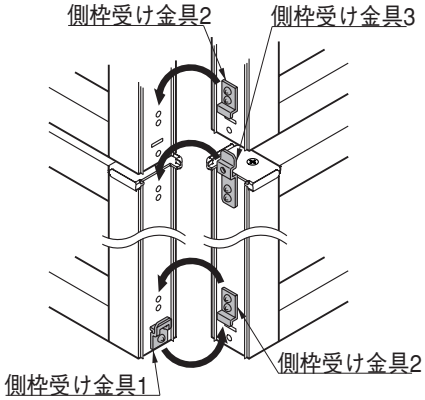


T-14サイズ

❶中間ブラケットに上段パネルの胴縁下をのせて、パネルの胴縁上を上部胴縁受け金具と2-①で固定してください。

5.パネルの連結

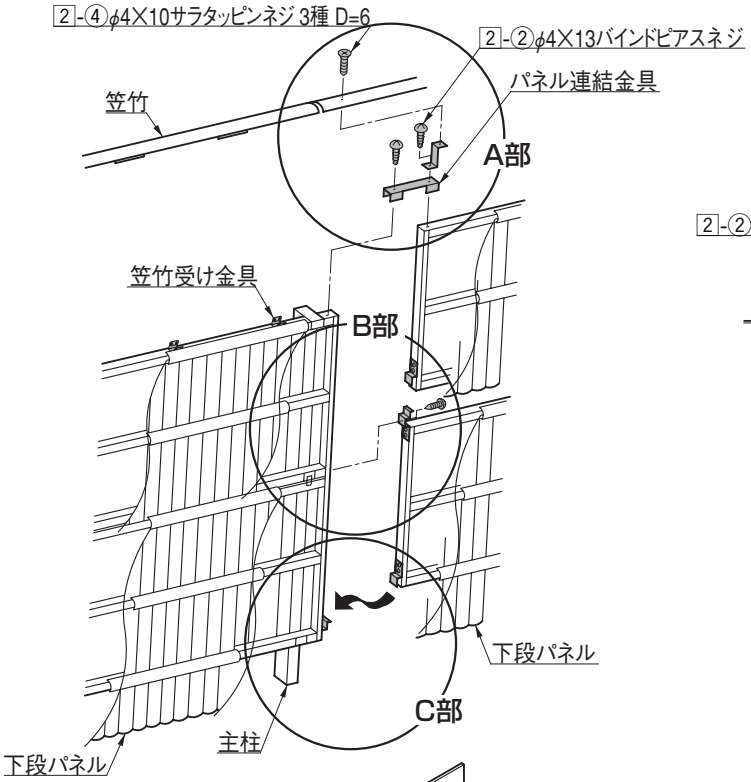




❶パネルを右側連結で取付けてください。

ポイント

- パネルの金具は、右側連結でセットされています。パネルを左側連結する場合は、パネル側面の側枠受け金具を交換してください。



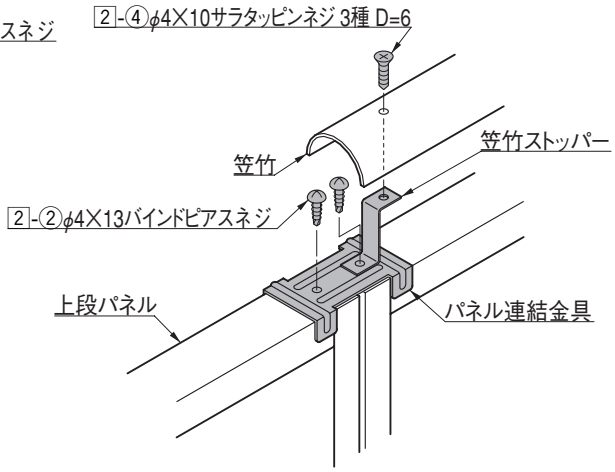


図5-1　A部詳細図

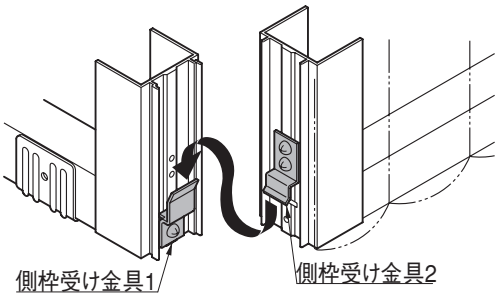


図5-2　C部詳細図

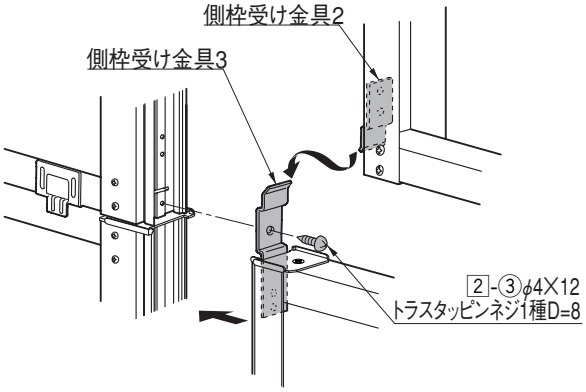


図5-3　B部詳細図

❶連結する下段パネルの側枠受け金具 2 を、固定された下段パネルの側枠受け金具 1 にのせてください。
❷下段パネルの側枠受け金具3を、固定された上段パネルに2-③で固定してください。
❸上段パネルをパネル連結金具で連結し、笠竹ストッパーと共に2-②で固定してください。
❹笠竹と笠竹ストッパーを2-④で取付けてください。

6.側枠下カバーの取付け

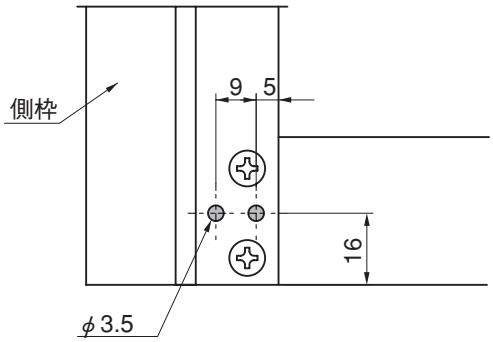
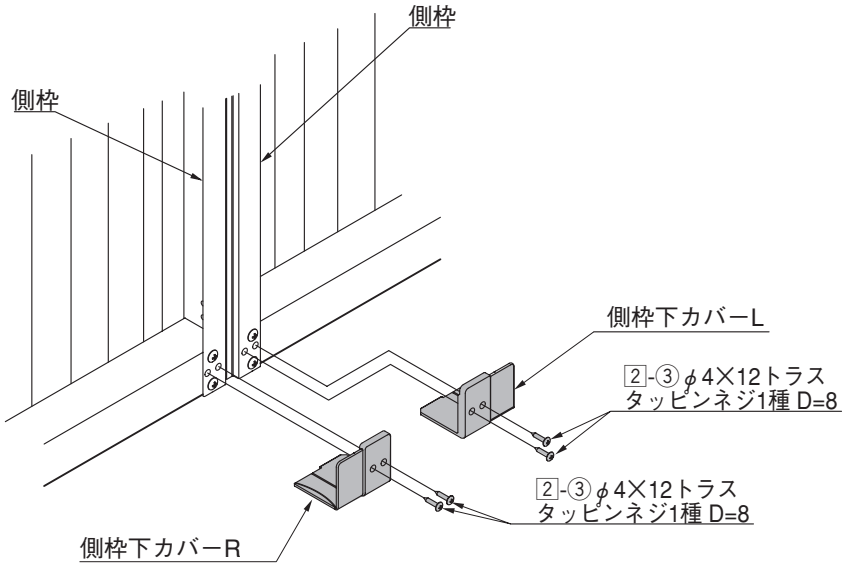


図6-1

❶下段パネルの側枠下部に側枠下カバー取付け孔φ3.5をあけてください。(図6-1参照)



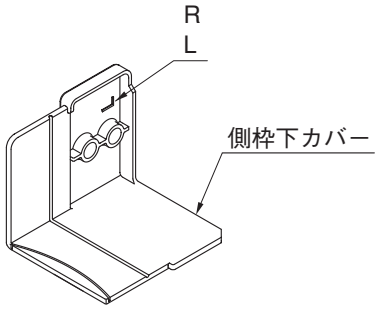


図6-2

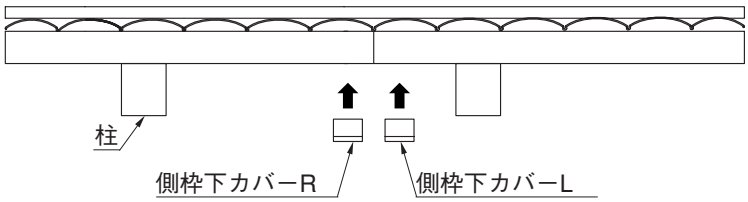


図6-3

❷側枠下カバーを側枠に2-③で取付けてください。(図6-3参照)

ポイント

- 側枠下カバーのR･Lは、裏面にあるR､Lの文字で確認できます。（図6-2参照）
- コーナーカバーセットを取付ける場合は､コーナー部材取付け側の側枠について側枠下カバーの取付け方法が異なります。「11.コーナー部材の取付け」を参照してください。

7.端部カバーの取付け

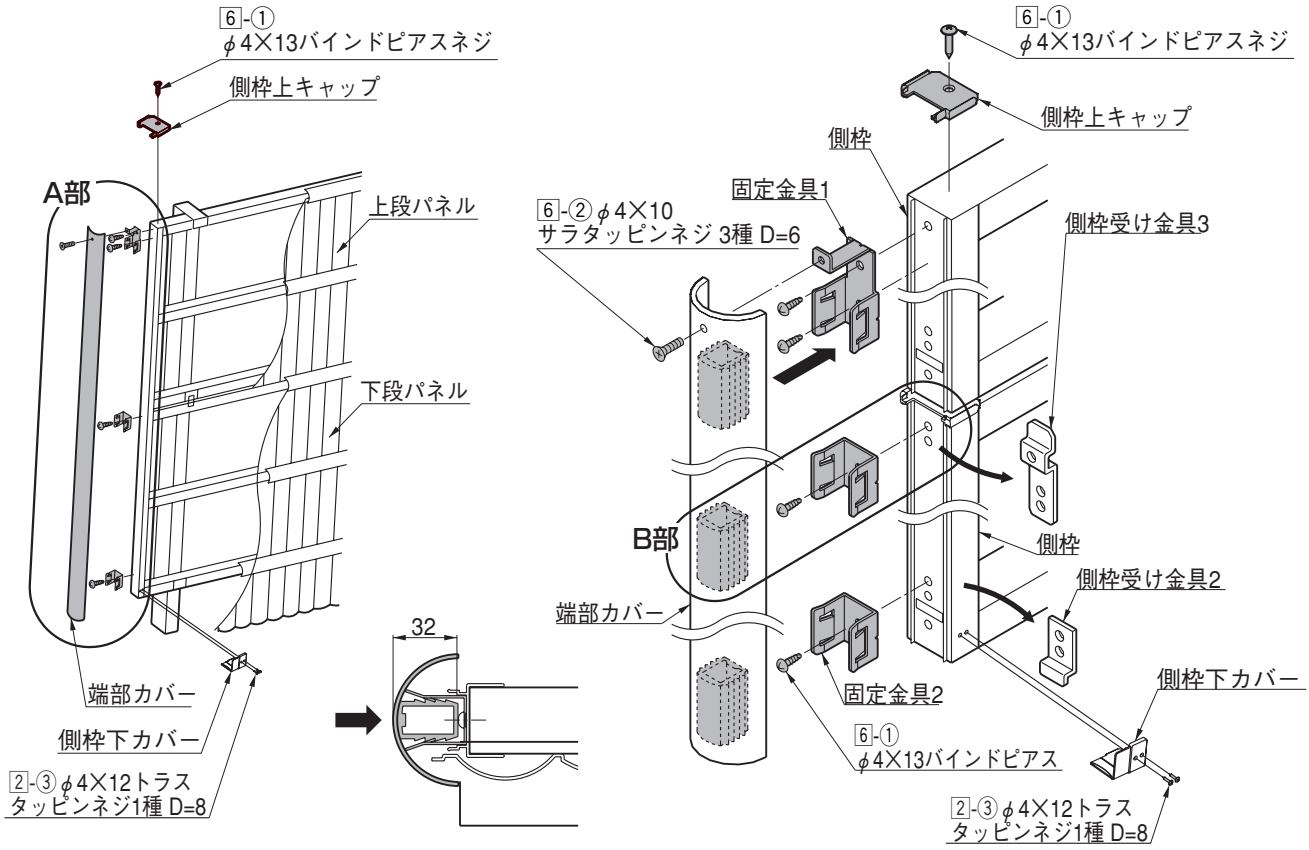


図7-1　B部断面図　　図7-2　A部詳細図

❶ユニットパネルの側枠の側枠受け金具2,側枠受け金具3をはずして、固定金具1,固定金具2を6-①で取付けてください。(図7-2参照)
❷端部カバーを固定金具1,固定金具2に差込んでください。（図7-1参照）
❸端部カバーと固定金具 1 を6-②で固定してください。（図7-2参照）

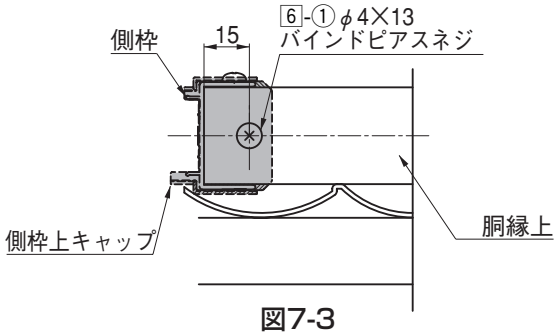


図7-3

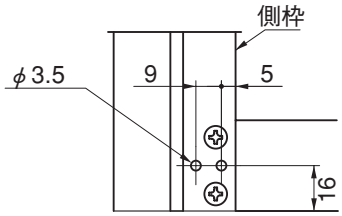


図7-4

❹上段パネルの側枠に側枠上キャップをはめて6-①で取付けください。（図7-3参照）

ポイント

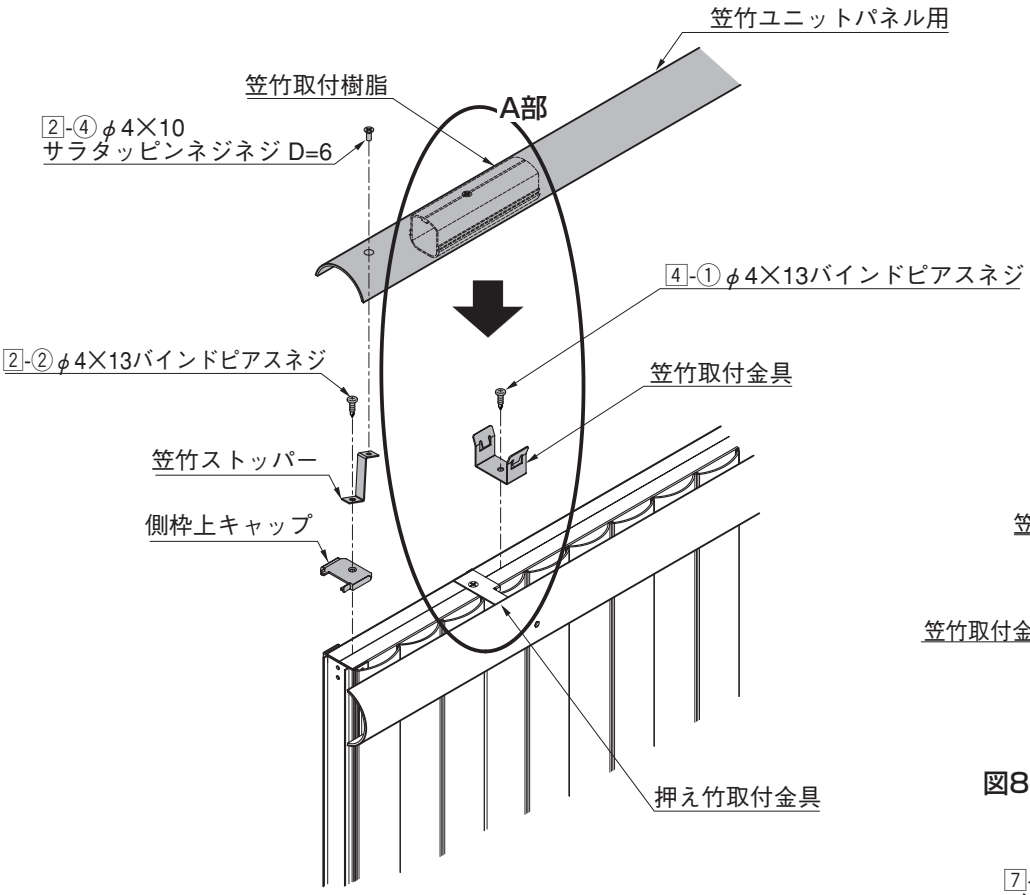
● 端部に笠竹ストッパーを取付ける場合は、「8.笠竹の取付け」を参照してください。

❺端部カバー取付側の側枠下部にφ3.5の孔をあけてください。（図7-4参照）
❻側枠下カバーを2-③で側枠に取付けてください。（図7-2参照）

ポイント

● 端部カバーが取付く側の側枠については、側枠カバーの取付け方向が通常の取付けと異なります。

8.笠竹の取付け



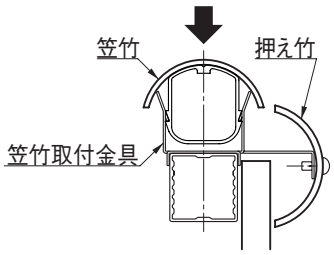


図8-1　A部断面図

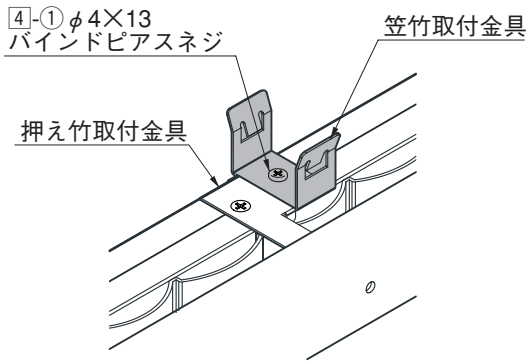


図8-2 笠竹取付金具取付位置

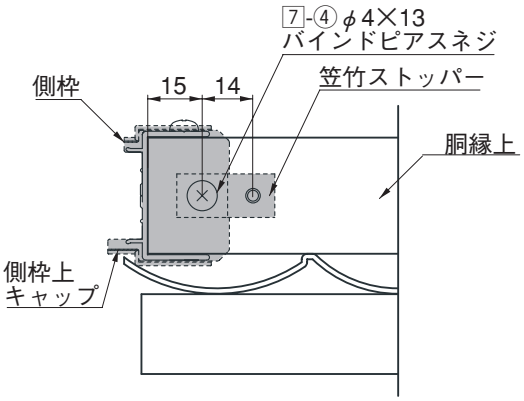


図8-3　笠竹ストッパー取付位置

❶笠竹取付金具を4-①で取付けてください。

ポイント

- 笠竹取付金具は押え竹取付金具に隣接させて取付けてください。（図8-2参照）

❷笠竹ストッパーを図8-3のように2-②で取付けてください。
❸笠竹取付樹脂を笠竹取付金具にしっかりかみ込むまで押し込んでください。（図8-1参照）
❹笠竹を2-④で笠竹ストッパーに固定してください。

注 意

- 笠竹が、笠竹取付金具にしっかりかみ込んでいるか確認してください。笠竹の取付不良は風による破損・飛散事故の原因になります。

9.押え竹連結カバーの取付け

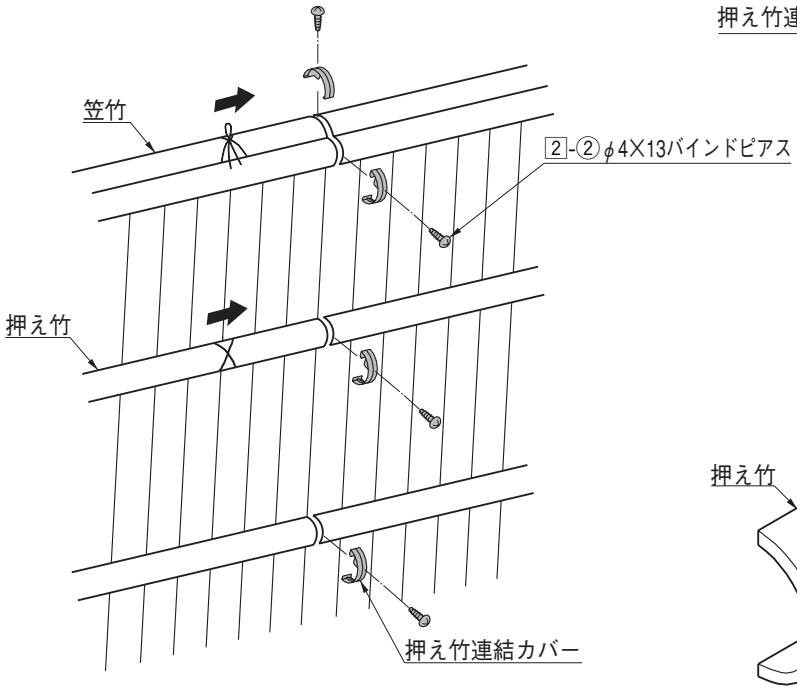


図9-1

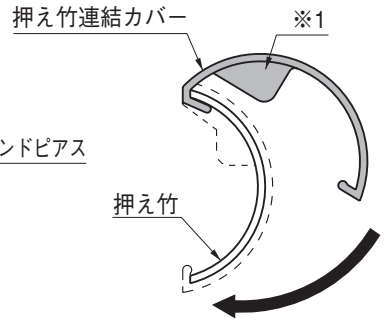


図9-2

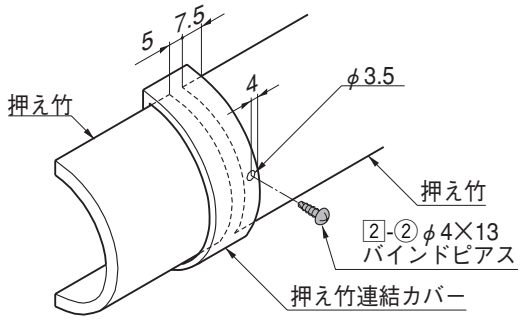


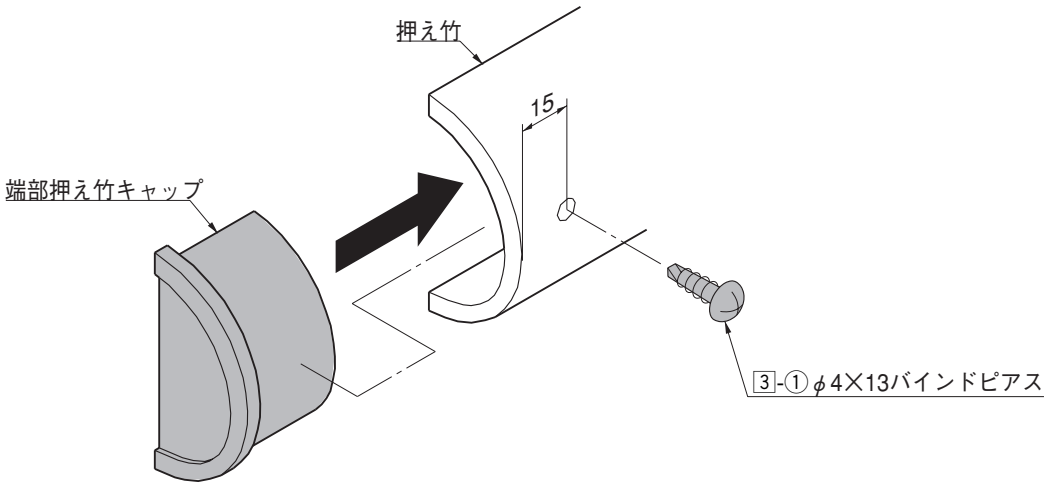
図9-3

❶笠竹と押え竹のつなぎ目に押え竹連結カバーを差し込んでください。（図9-1,図9-2参照）
❷押え竹の端部から7.5mmの位置に押え竹連結カバーを合わせ、2-②で固定してください。（図9-3参照）
❸押え竹連結カバー取付け後、笠竹、押え竹（一個おき）の端部のシュロ縄をつなぎ目にずらしてください。（図9-1参照）

ポイント

- 突起部（※1）を押え竹のつなぎ目に差し込んでください。

10.端部押え竹キャップの取付け



❶押え竹端部から15㎜の位置にφ5の孔をあけ、3-①で押え竹端部キャップを固定してください。

ポイント

- 笠竹の場合も同様に取付けてください。

11.コーナー部材の取付け

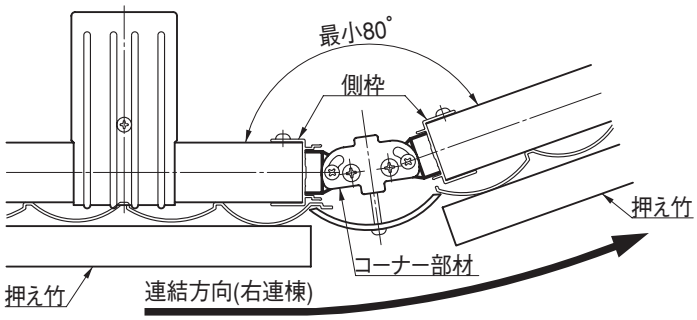


図11-1　出隅

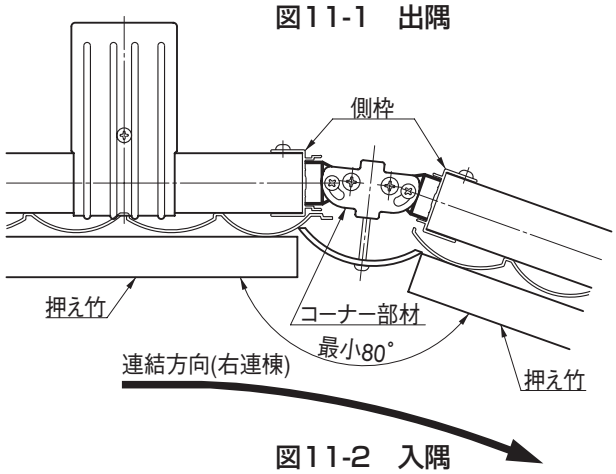


図11-2　入隅

❶図11-1、図11-2を参照しコーナー部材の向きを決めてください。

ポイント

- コーナー部材の金具は図11-2の場合に合わせてセットされています。

ポイント

- 図11-1の場合、または左連棟のときのみ側枠受け金具の位置を交換してください。(図11-3参照)

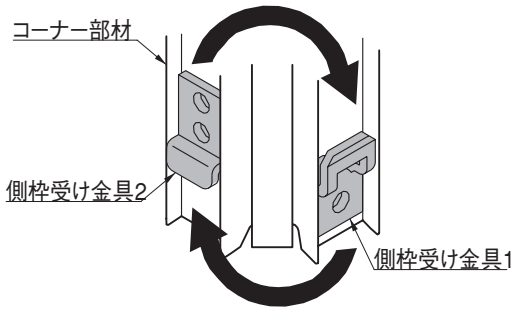
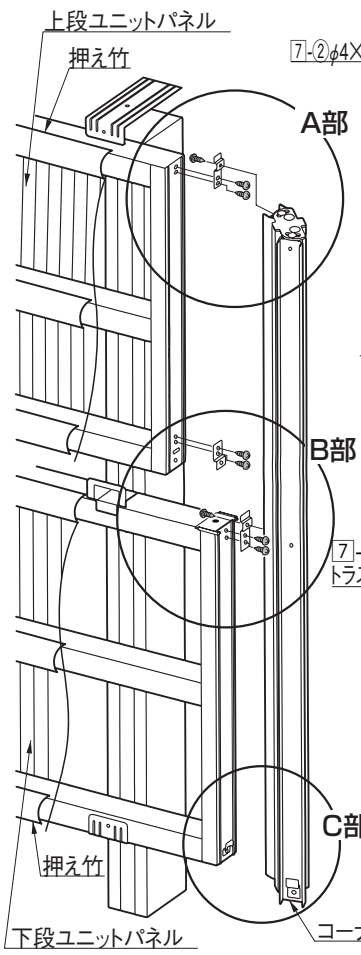


図11-3



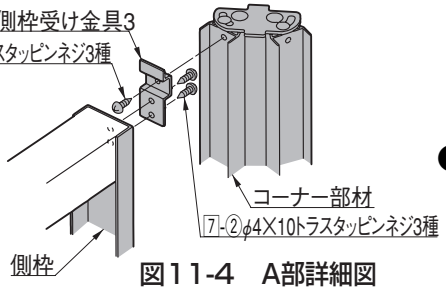


図11-4　A部詳細図

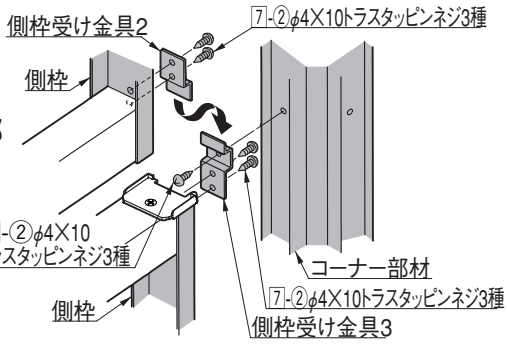


図11-5　B部詳細図

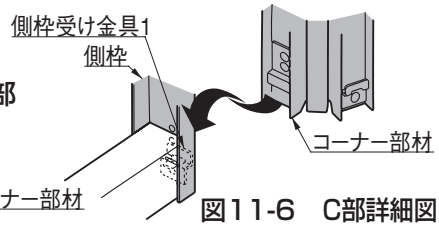


図11-6　C部詳細図

❷上段パネルに側枠受け金具2、側枠受け金具3を7-②で取付けてください。(図11-4、図11-5 参照)

❸下段のユニットパネルに側枠受け金具を7-②で取付けてください。(図11-5参照)

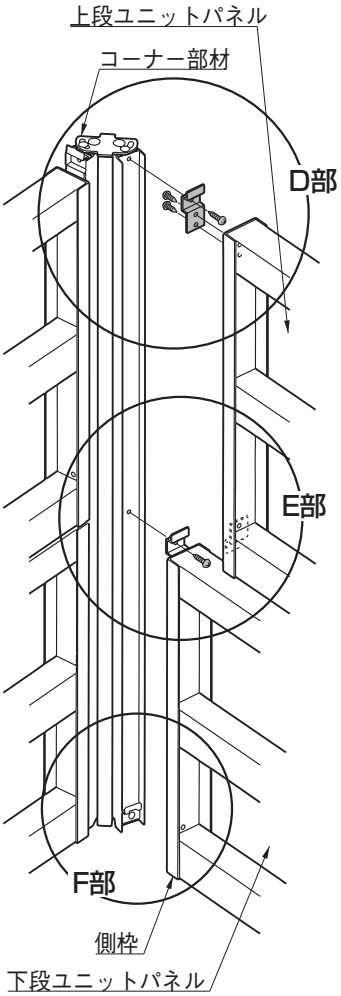
❹下段のユニットパネルにコーナー部材をのせて、ユニットパネルとコーナー部材を7-②連結してください。(図11-5,図11-6参照)

❺上段パネルを下段パネルにのせて、コーナー部材に7-②で固定してください。(図11-4,図11-5参照)

ポイント

- 図11-2の場合は、コーナーカバーを取付け後、押え竹を現合にて切断する場合がありますので、ユニットパネルの押え竹をはずしておいてください。

11.つづき



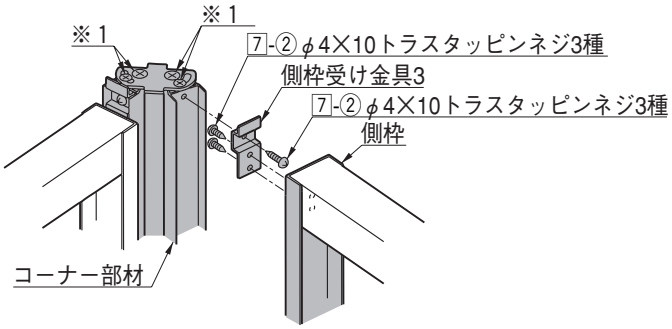


図11-7　D部詳細図

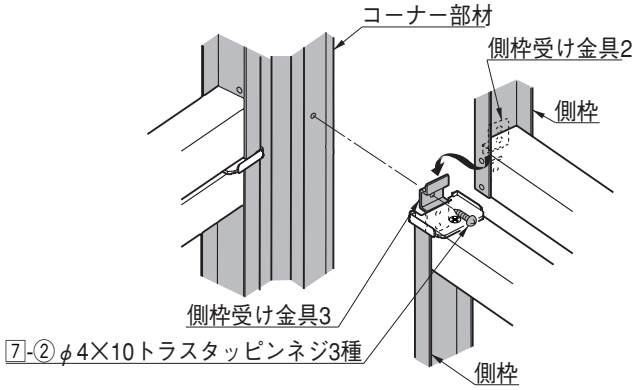


図11-8　E部詳細図

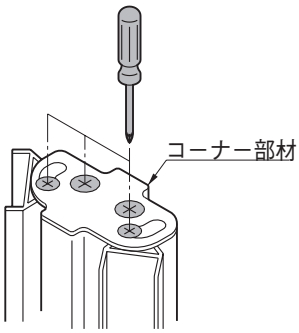


図11-10

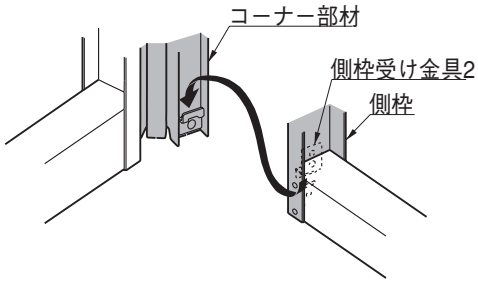


図11-9　F部詳細図

❼コーナー部材の角度調整ができるように､コーナー部材のネジ(※1)軽くゆるめてください。(図11-7参照)

⚠注 意

● ネジを外すと金具が外れてしまいますので注意してください。

❽コーナー部材に下段ユニットパネルをのせて、7-②で連結してく ださい。（図11-8、図11-9参照）
❾上段ユニットパネルに側枠受け金具3を7-②で取付けてください。（図11-7参照）
❿上段ユニットパネルを下段ユニットパネルにのせて7-②で固定 してください。（図11-7、図11-8参照）
⓫コーナー角度セット後、コーナー部材のネジを締め込んでください。(図11-10参照)

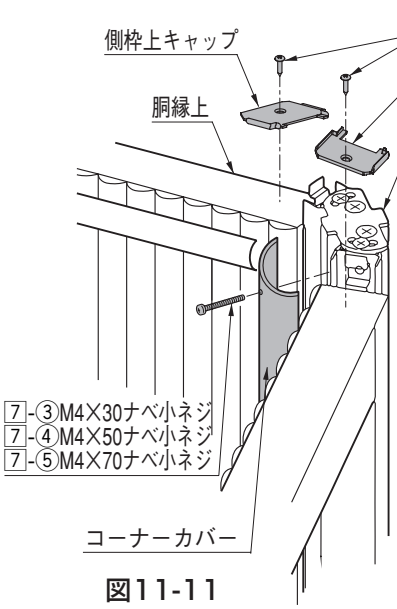


図11-11

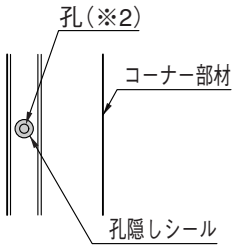


図11-12

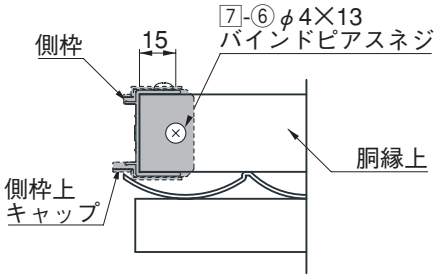


図11-13

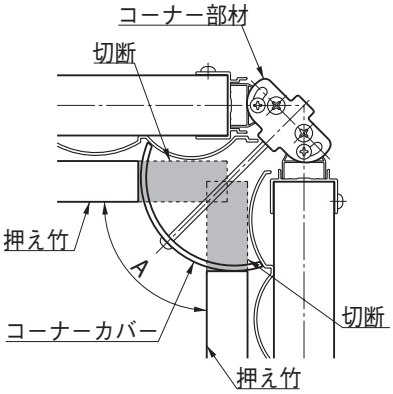
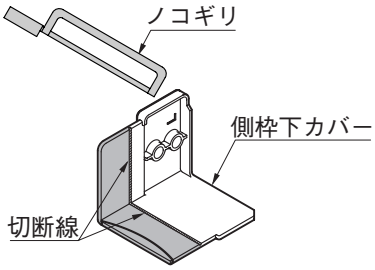


図11-14



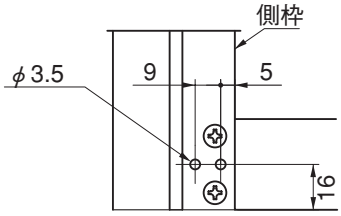


図11-15

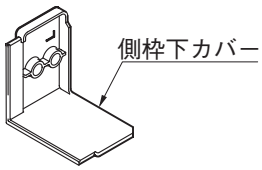


図11-16

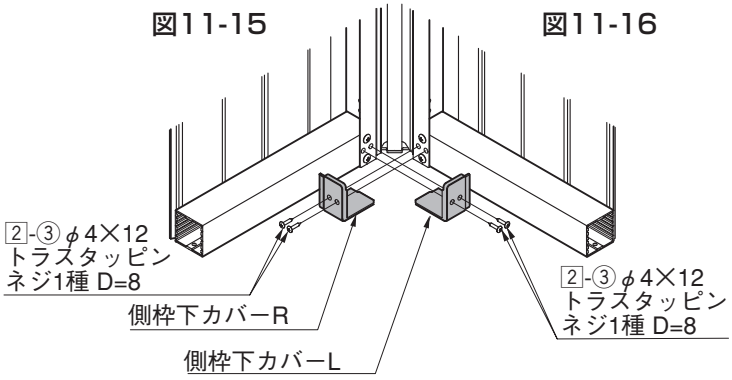


図11-17

⓬下表を参考にして7-③,7-④,7-⑤,のいずれかを選び、コーナーカバーを取付けてください。(図11-11参照)

	7-③	7-④	7-⑤
出隅(図11-1)	80°~160°	160°~180°	ー
入隅(図11-2)	ー	120°~180°	80°~120°

補 足

- 角度により使用しないネジは捨ててください。

⓭コーナー部材のコーナーカバーを取付けない側の孔（※2）に孔隠しシールを貼り付けて、孔をふさいでください。（図11-12参照）

⓮側枠に側枠上キャップをかぶせ7-⑥で胴縁上に取付けてください。（図11-11参照）

⓯押え竹はコーナーカバーの切断部を切断してください。（図11-14参照）

補 足

- Aが180°以上の場合は、切断の必要はありません。

ポイント

- コーナー部に笠竹ストッパーを取付ける場合は、「8.笠竹の取付け」を参照してください。

⓰コーナー部材取付け側の側枠下部にφ3.5の孔をあけてください。（図11-15参照）

⓱側枠下カバーをノコギリ等を使い切断線で切断してください。（図11-16参照）

注 意

- ケガ防止のため、切断部は必ずバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。

⓲切断した側枠下カバーを2-③で側枠に取付けてください。（図11-17参照）

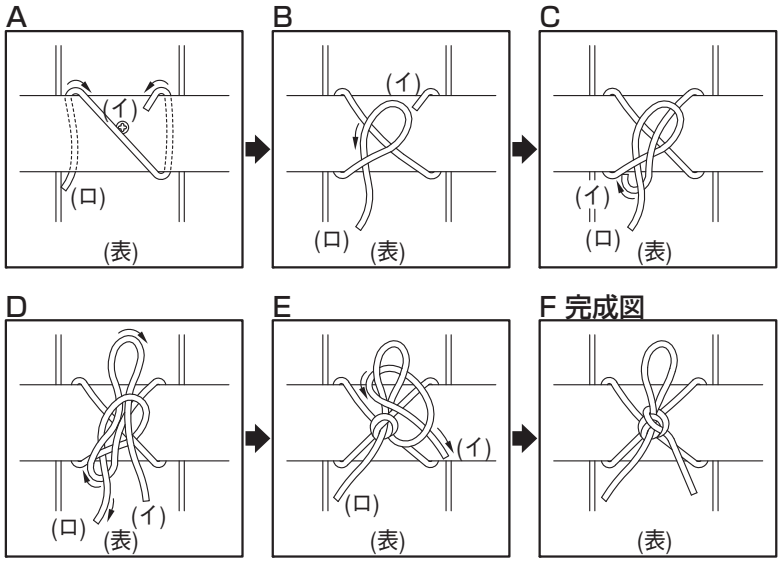
補 足

- コーナー部材が取付く側の側枠については、側枠下カバーの取付け方向が通常の取付けと異なります。

12.シュロ縄のしばり方

※切詰め等により、シュロ縄のしばり直しが必要な場合の作業です。

12-1 押え竹の場合

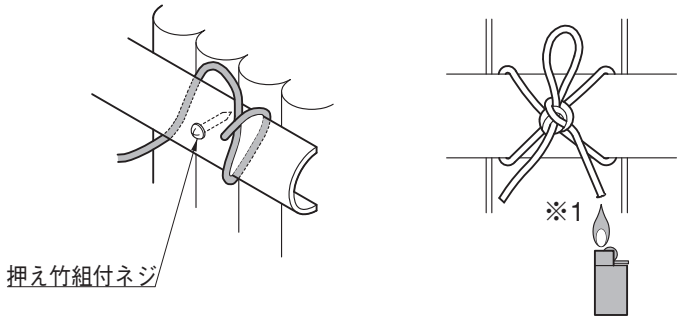


❶ A図のように、シュロ縄を押え竹に巻き付けてください。

❷ B図のように、(ロ)の部分で輪を作りC図のように(イ)を通してください。

❸ (イ)をもう一度D図のように輪の中に通して、(ロ)を引いてください。

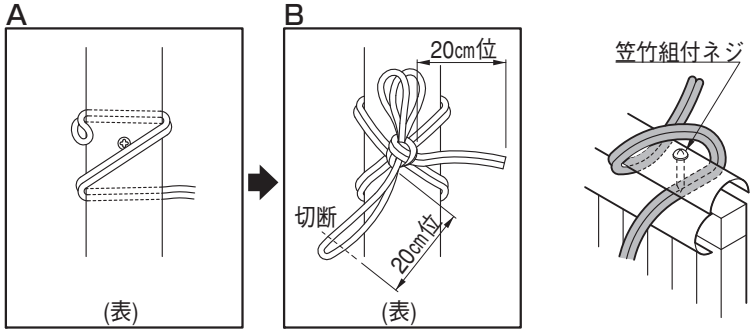
❹ E図のように、D図で作った輪に(イ)を巻き付けて、← 方向に引いてください。これで完成です。



ポイント

- シュロ縄は、押え竹組付ネジの位置に合わせて取付けてください。
- 縄をしばった後、先端をライター等でとかしてほどけないようにしてください。(とかしすぎに注意してください。)(※1)

12-2 笠竹の場合



❶ A図のように、シュロ縄を2重にして笠竹に巻き付けてください。

❷ しばり方は、押え竹の場合と同様の手順でしばってください。

❸ 完成後、B図のように(イ)の先端を切断してください。

ポイント

- シュロ縄は、笠竹組付ネジの位置に合わせて取付けてください。

取説コード
C180

BZW603419D
IG-A①
201607I_1049